

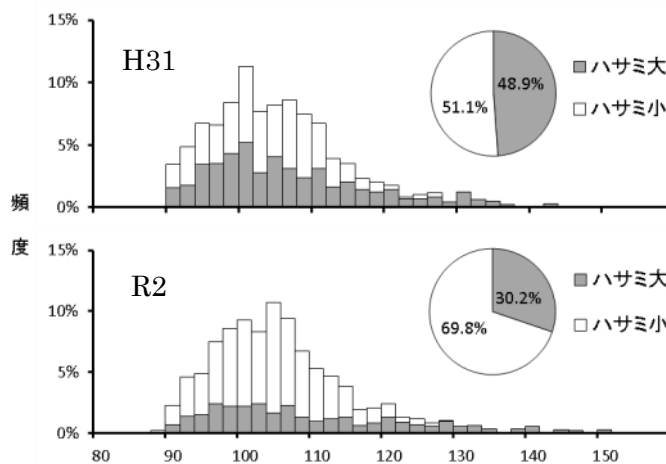
ズワイガニ（水ガニ）の資源調査

京都府の底曳網漁業者は、福井、兵庫の漁業者と連携して資源管理の観点から府沖合では「水ガニ」※を自主的に禁漁としています。

当センターでは、その禁漁効果やズワイガニの資源状況などを調べるために、水ガニの甲羅やハサミの大きさなどを測定しています。1～3月の調査結果では、甲幅 100～110 mm の小型個体が主体で、前年と比較して甲幅は同程度ですが、ハサミの小さな個体の割合が高いことがわかりました。ハサミの大きな個体は翌年もそのままの大きさですが、ハサミの小さな個体は翌年脱皮して成長することから、今後、大きいオスガニの漁獲量増加につながることを期待されます。

また、漁業者が漁獲した水ガニの一部は、標識を付けてリリースされています。これらの標識の付いた個体が再び漁獲された情報を元に、効果的な資源管理のためのデータ蓄積を行っています。

※ 水ガニ：9～10月頃に脱皮をした甲羅の柔らかい雄のズワイガニ。
ハサミの小さい水ガニは、翌年も脱皮するため漁獲対象にならない。
一方、ハサミの大きい水ガニは、これ以上脱皮しない（最終脱皮）ので、来漁期には身入りの良いカニとなる。



水ガニの甲幅及びハサミの測定結果